

平成28年6月30日



広報資料

【問い合わせ先】

第一管区海上保安本部交通部

安全対策課長 坂本 敬司

TEL 0134-27-0118 (内線 2640)

「全国海難防止強調運動」の実施について ～海の事故ゼロキャンペーン～

7月16日(土)から31日(日)までの間、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、海事・水産関係民間団体、国の関係機関及び地方公共団体(資料1)が一体となって、「全国海難防止強調運動～海の事故ゼロキャンペーン～」を実施します。

1 運動の趣旨

海の事故を防止するために、船舶運航に直接関わる者の意識を高めることに加え、海運、漁業活動の恩恵を享受している国民の皆様にも、海難防止について関心を持っていただきたいという観点から、海事・水産関係民間団体、国の関係機関及び地方公共団体(資料1)が一体となって、海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的として、「全国海難防止強調運動～海の事故ゼロキャンペーン～」を実施します。

2 北海道地区重点事項

(1) 小型船舶の海難防止

発航前点検及び使用後手入れの徹底(資料2 事例1)

ミニボートの安全運航に関する周知、徹底(資料2 事例2)

(2) 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

常時適切な見張りの徹底 (資料 2 事例 3)

相手にわかりやすい早めの動作

V H F や汽笛信号等の活用

簡易型 A I S の搭載促進

(3) ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

(4) 最新の気象・海象情報の入手と活用 (資料 2 事例 4)

3 実施内容

期間中、官民の関係者が一体となって、次の活動等に取り組むほか 7 月 1 6 日には、札幌駅前通地下広場 (チカホ) において、海難防止 P R 活動を実施します。(資料 3、4)

(1) 広報活動

テレビ、ラジオ、新聞、広報誌等を利用した本運動の広報の実施

国民の目に付きやすい場所への本運動ポスターの掲示

ホームページ、「海の安全情報」(M I C S)、電光表示板等を利用した本運動の周知

各種イベント等における海難防止 P R 活動の実施

(2) 安全に関する指導、教育、訓練

船舶や事務所等を訪問しての安全指導、海難防止講習会、海上安全教室等

【資料 1】

北海道地区海難防止強調運動構成員一覧

北海道運輸局
第一管区海上保安本部
札幌管区气象台
函館地方海難審判所
運輸安全委員会事務局函館事務所
北海道総合通信局
北海道
札幌市
公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター
北海道船主協会連合会
一般社団法人 全国船舶無線協会北海道支部
北海道機船漁業協同組合連合会
NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会北海道地方本部
日本ライフセービング協会北海道支部
北海道スキューバダイビング安全対策連絡協議会
全日本海員組合北海道地方支部
北海道漁業協同組合連合会
北海道旅客船協会
一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会北海道事務所
公益社団法人 北海道海事広報協会
公益社団法人 日本海洋少年団北海道連盟
日本小型船舶検査機構札幌支部

【資料 2】 小型船舶の事故事例

【事例1】【発航前点検の実施により防げた事故】

水上オートバイの漂流

【概要】

27年7月20日、稚内声問沖で水上オートバイがバッテリーの過放電による機関故障で漂流し、救助要請があったもの。

乗船者は、怪我等なく救助され、水上オートバイは救難所所属船に曳航された。

乗船者に対して、発航前点検の励行等、安全指導を実施した。

気象状況：晴れ、南南西の風8m

【事例2】【ミニボートの事故】

ミニボートの転覆

【概要】

28年5月13日、午前11時50分頃、伊達市南黄金町沖で右写真のボートで釣り中のところ、釣り場移動のため立上り船外機を起動しようとしたところ、バランスを崩し転覆、乗員2名が海中転落したもの。

乗員2名は、付近の他のボートに救助された。

転覆したボートは伊達救難所所属船により黄金漁港へ曳航された。

気象状況：晴、北西の風4m、波0.5m

(全員ライフジャケット着用)



【事例3】【見張りの実施により防げた事故】

遊漁船の衝突

【概要】

27年7月5日、枝幸沖で釣り中の遊漁船に他の遊漁船が衝突し船外機が破損、航行不能となったもの。衝突された遊漁船の乗客1名が肋骨を骨折する負傷。

航行不能となった遊漁船は、衝突した遊漁船に曳航されて枝幸港へ入港した。

気象状況：くもり、南西の風3m、波1m

(ライフジャケット着用)



【事例4】【気象・海象情報の入手により防げた事故】

ヨットの転覆

【概要】

28年5月15日、午前7時20分頃、小樽市新川河口でヨットで釣り中のところ、横波を受けて転覆、乗員2名が海中転落したもの。

付近航行中の遊漁船が転覆したヨットを曳航するとともに、乗員2名を救助し、石狩湾港花畔ふ頭に着岸した。

気象状況：晴、南東の風6m 波0.3m (全員ライフジャケット着用)



【資料3】札幌駅前通地下広場海難防止PR活動

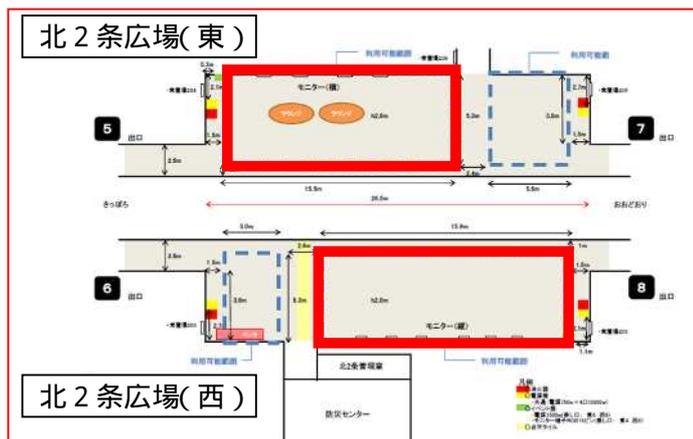
第一管区海上保安本部では、海の事故防止活動の一環として関係省庁及び海事関係者、マリンレジャー関係者が一体となって、札幌駅前通地下広場（チカホ）において海難防止啓発イベントの開催を予定しております。

- 1 実施日時
平成28年7月16日（土）11～15時
- 2 実施場所
札幌駅前通地下広場（チカホ） 北2条広場
- 3 参加予定機関（5機関、3団体）
第一管区海上保安本部、北海道総合通信局、北海道運輸局、札幌管区气象台、北海道、
（公社）北海道海難防止・水難救済センター、北海道船主協会連合会、日本小型船舶検査機構札幌支部

- 4 PR活動の概要
札幌駅前通地下広場を通行する歩行者に対し、啓発活動を実施します。
（1）海難防止ポスター掲示、啓発ビデオの放映、リーフレット等の配布
（2）ライフジャケット試着

- 5 その他
取材を希望される方は、7月14日（木）1600までに第一管区海上保安本部交通部安全対策課（TEL 0134-27-0118 内線2641）あて連絡をお願いいたします。

海難防止PR活動案内図



- 1 出入口
- EV エレベーター
- トイレ
- 公衆電話
- 交差点広場
- イベントスペース(まち会社自主企画)
- 買出スペース
- ビル接続空間
- まちなかサロン(休憩スペース)
- 啓発広告

【資料4】北海道地区海難防止強調運動 主要活動予定(事前活動を含む。)

【管内部署共通】

プレジャーボート、漁船等を訪問しての海難防止啓発活動
海難防止啓発用横断幕、看板の設置
道の駅、釣具店、ショップ等へのポスター掲示、リーフレット設置

【管内各部署の活動】

【第一管区海上保安本部】

日本ハムファイターズの試合中、野球観戦者へ安全啓発活動を実施(7/20頃)
札幌駅地下歩行空間イベントスペースにおける関係機関合同安全啓発活動(7/16)
「海の安全情報」による周知(7月)

【函館海上保安部】

水上オートバイ愛好者に対する安全講習会(7月)
鷗島灯台の一般公開に併せた海難防止啓発活動(7/3)

【室蘭海上保安部】

チキウ岬灯台の一般公開に併せた海難防止啓発活動(7/18)
巡視船えとも体験航海に併せた海難防止啓発活動(7/31)

【留萌海上保安部】

F Mラジオ出演による海難防止啓発活動(7月)
巡視船ちとせ体験航海に併せた海難防止啓発活動(7/24)

【稚内海上保安部】

F Mラジオ出演による海難防止啓発活動(7/12)
巡視船れぶん一般公開に併せた海難防止啓発活動(7/24)
灯台の一般公開に併せた海難防止啓発活動(宗谷岬灯台 7/23、稚内灯台 8/4)
稚内みなと南極祭りに併せた海難防止啓発活動(8/7)

【根室海上保安部】

F Mラジオ出演による海難防止啓発活動(7月)
根室みなと祭りに併せた海難防止啓発活動(7/17)

【苫小牧海上保安署】

1日港長及び1日船長による海難防止啓発活動(7/15)
苫小牧・浜厚真救難所の合同救助訓練を通じた海難防止啓発活動(7/23)

【江差海上保安署】

巡視船かむい一般公開に併せた海難防止啓発活動(7/2)
小中学生に対する安全講習会(7月)

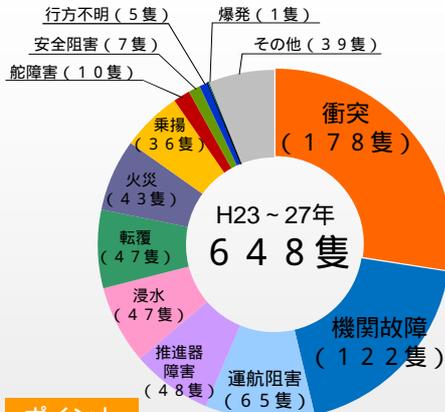
【広尾海上保安署】

広尾町防災無線による海難防止啓発活動の周知(7月)
十勝港まつりでの巡視船とかち救難訓練実施に併せた海難防止啓発活動(8/6)

【函館航空基地】

北斗市消防との合同潜水訓練実施に併せた海難防止啓発活動(7月)
七飯高等学校インターンシップに併せた海難防止安全指導(7/15)

海難種類別の発生状況

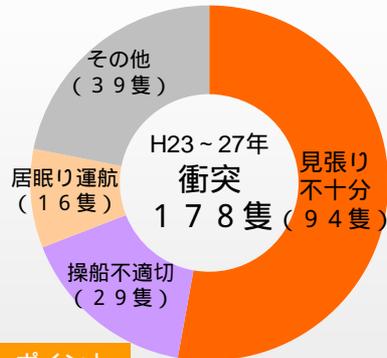


ポイント

衝突が全体の約3割と最も多く、次いで機関故障が全体の約2割となっている。

運航障害：バッテリーの過放電、燃料欠乏、無人漂流等
安全障害：転覆に至らない船体傾斜、走錨、荒天難航

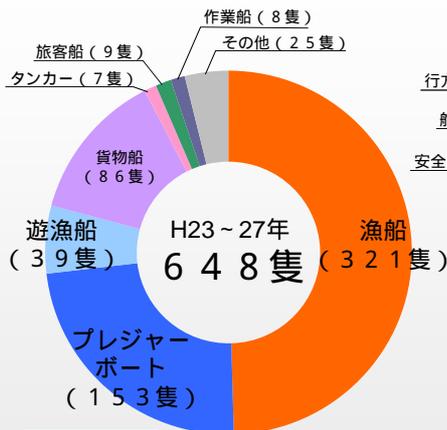
衝突海難の原因別の発生状況



ポイント

見張り不十分が全体の約5割を占めている。

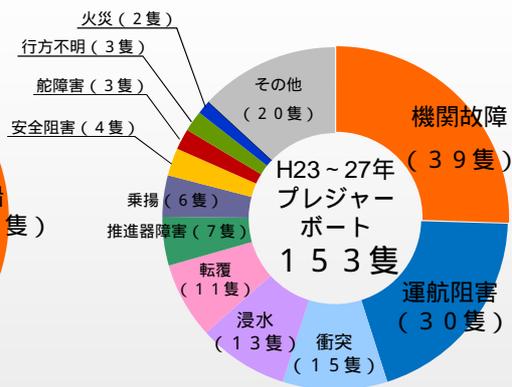
船舶用途別の発生状況



ポイント

小型船舶（漁船、プレジャーボート、遊漁船）が全体の約8割（513隻）を占める。

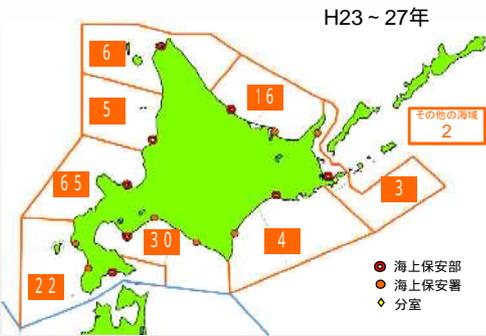
プレジャーボートの海難種類別の発生状況



ポイント

機関故障が全体の2割以上を占める。

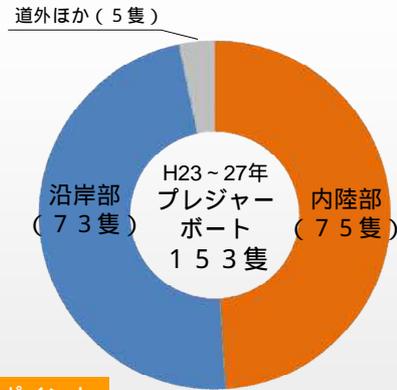
プレジャーボートによる 海難の海域別の発生状況



ポイント

道央、道南で発生したものが全体の約8割を占めている。

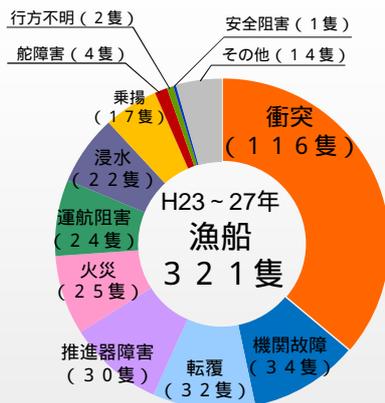
海難発生船舶の 船長居住地内訳



ポイント

プレジャーボートの船長の約5割が内陸部在住者

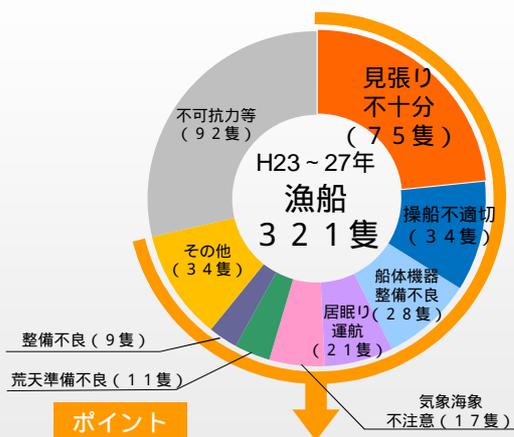
漁船の 海難種類別の発生状況



ポイント

衝突が全体の3割以上を占める。

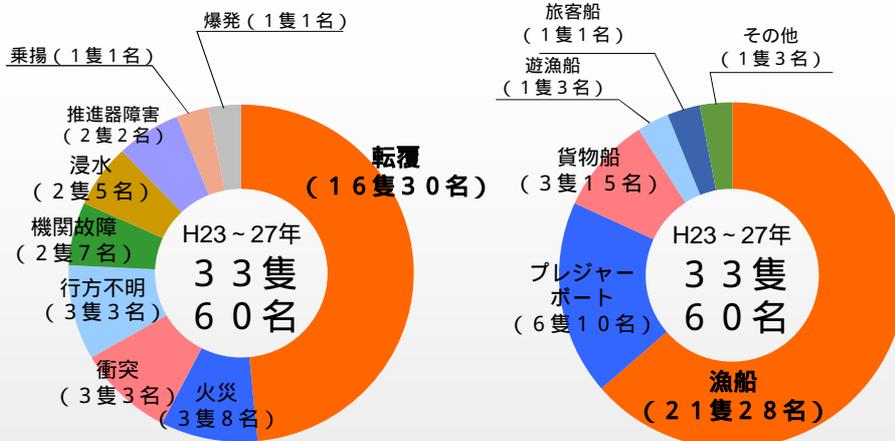
漁船の 主原因別の発生状況



ポイント

人為的要因が全体の約7割を占める。

死者・行方不明者を伴う海難の発生状況



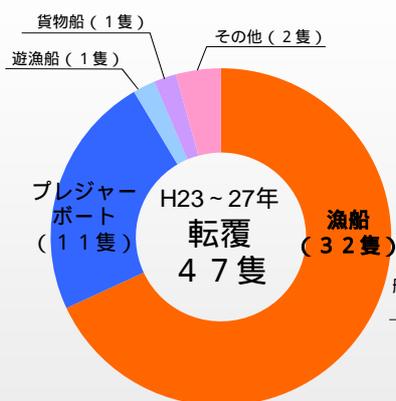
ポイント

海難種類別では転覆が16隻(30名)と全体の約5割を占める。

ポイント

用途別では漁船が21隻(28名)と全体の6割以上を占める。

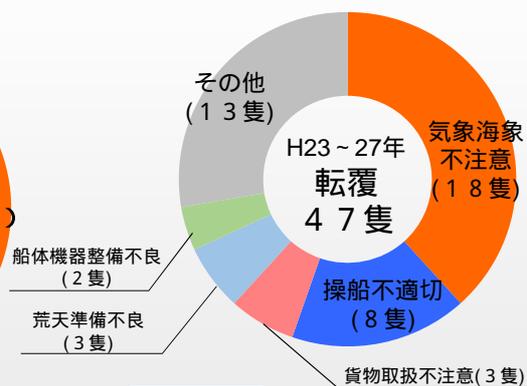
転覆海難の船舶用途別の発生状況



ポイント

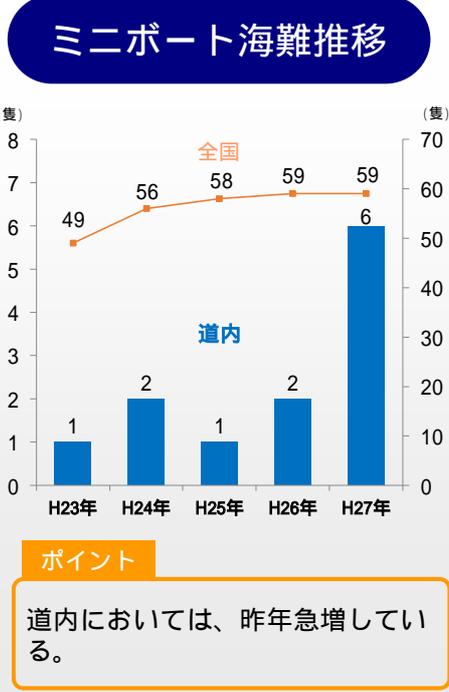
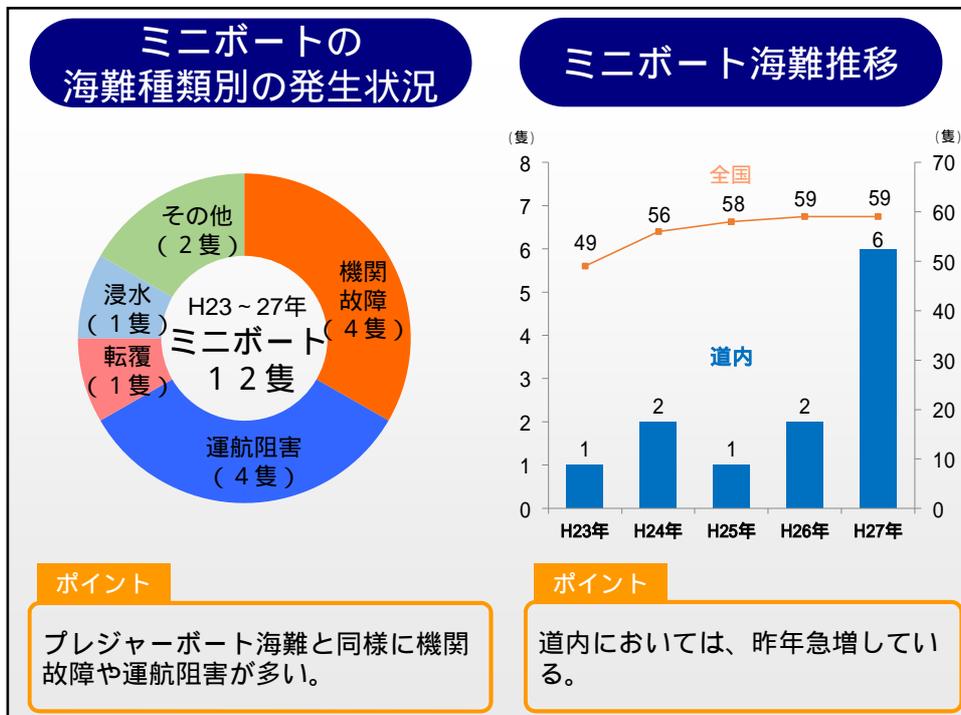
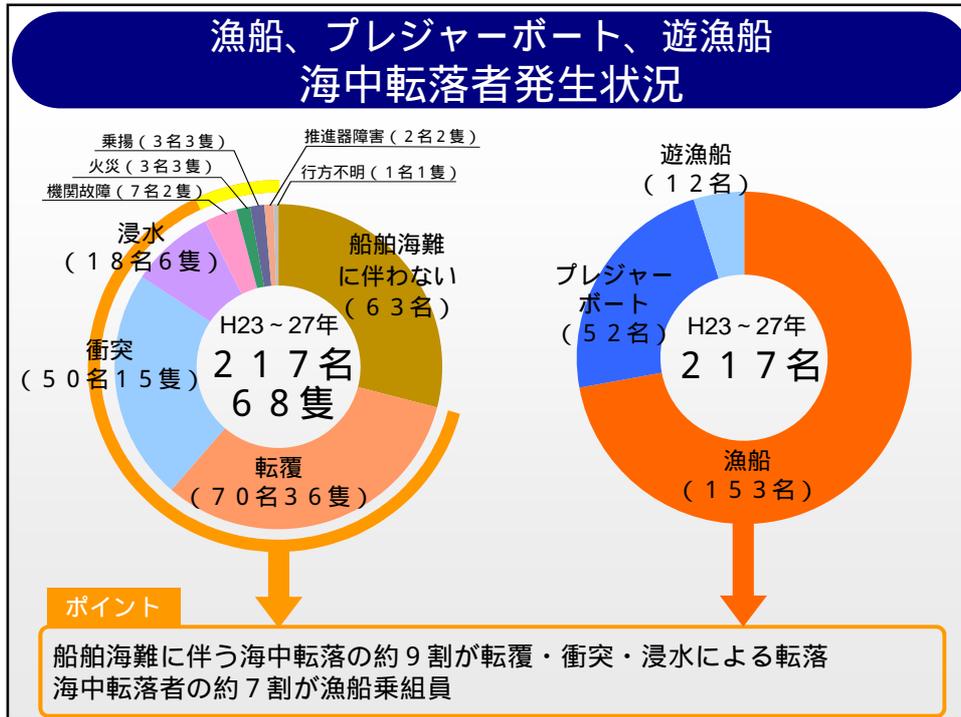
小型船舶(漁船、プレジャーボート、遊漁船)が全体の9割以上を占める。

転覆海難の原因別の発生状況



ポイント

気象海象の不注意が全体の約4割を占める。



全国海難防止強調運動活動例（平成27年度）

第一管区海上保安本部

	活動内容	官民一体となった啓発活動
	名称	札幌駅前地下歩行空間(チカホ)での海難防止啓発活動
	実施者	一本部、北海道運輸局、札幌管区気象台、北海道、北海道海難防止・水難救済センター、日本マリン事業協会、北海道船主協会連合会、北海道スキューバダイビング安全対策連絡協議会
実施事項	北海道地区海難防止強調運動推進連絡会議構成メンバーと合同で、海での事故防止について呼びかけを実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	情報テレビ番組内での事故防止周知啓発
	実施者	一本部
実施事項	テレビの街角PRコーナーに出演し、遊泳中の事故防止について周知啓発活動を実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	札幌ドームにおける海難防止啓発活動
	実施者	一本部、小樽海上保安部
実施事項	札幌ドームにおける日本ハムファイターズの試合時、入場者へのリーフレット配布及びオーロラビジョンを使用した事故防止のための安全啓発活動を実施	

	活動内容	訪船指導
	名称	運輸局と合同での訪船指導
	実施者	釧路海上保安部
実施事項	運輸局と合同で訪船指導を実施	

	活動内容	合同パトロール
	名称	パーソナルウォータークラフト安全協会との合同パトロール
	実施者	小樽海上保安部
実施事項	PW安全協会との合同パトロールを実施し、水上オートバイ利用者に対し安全啓発を実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	一日港長・船長
	実施者	苫小牧海上保安署
実施事項	苫小牧一日港長及び同船長が巡視艇に乗船して港内巡視を実施し、在港船等に対し事故防止を呼び掛けを実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	小型船交通安全協議会主催行事における海難防止啓発活動
	実施者	函館海上保安部
実施事項	函館地区小型船交通安全協議会からの協力要請を受け、体験乗船会に併せて安全啓発活動を実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	F Mラジオ局の番組内での海難防止呼びかけ
	実施者	室蘭海上保安部
実施事項	地元F Mラジオに出演し、海難防止啓発等の活動を実施	

	活動内容	一般公開
	名称	宗谷岬灯台一般公開
	実施者	稚内海上保安部
実施事項	宗谷岬灯台の一般公開に併せ、全国海難防止強調運動を広く一般に周知し、海難防止啓発活動を実施	

	活動内容	安全教室
	名称	海の安全教室
	実施者	紋別海上保安部
実施事項	オホーツクタワー内エントランスホールで海の安全教室を実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	カーフェリー乗客に対する安全指導
	実施者	稚内海上保安部
実施事項	運航中のカーフェリーの乗客に対し、救命胴衣の格納場所の確認及び着用方法の実演を実施	

	活動内容	啓発活動
	名称	航空基地見学・救助体験
	実施者	函館航空基地
実施事項	高校生に対する海の事故防止の啓発及び救助体験を実施	